

本製品は、2022年4月をもちまして新規販売を終了いたしました。

アンリツ社製 PureFlow WSXシリーズ

概要

PureFlow WSXシリーズ ラインナップ

PureFlow WSX は回線帯域最大10Gbit/s対応の国産WAN最適化アプライアンスです。専用ハードウェア処理による高性能、ディスクレス構造による高信頼性が特徴です。

WAN高速化モデル – TCP高速化+帯域制御が可能な専用アプライアンス装置

- 最大帯域をオプションにて拡張可能
- 通信距離遅延を解消し、いつでもどこでもファイル転送を高速化



最大回線帯域:1G~10Gbit/s



最大回線帯域:100M~1Gbit/s

法人向け
エントリーモデル

帯域制御 – 帯域制御に特化した専用アプライアンス装置

- 最大帯域・シナリオ数（帯域制御キュー数）をオプションにて拡張可能
- トラフィック公平制御・バースト抑制により回線利用効率を向上



回線帯域:1G~10Gbit/s

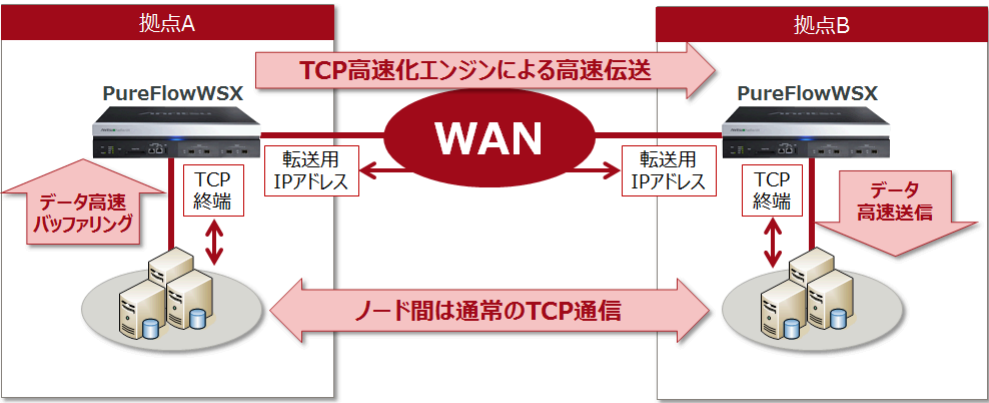


回線帯域:1Gbit/s

法人向け
エントリーモデル

PureFlow WSX <WAN高速化モデル> 基本運用イメージ

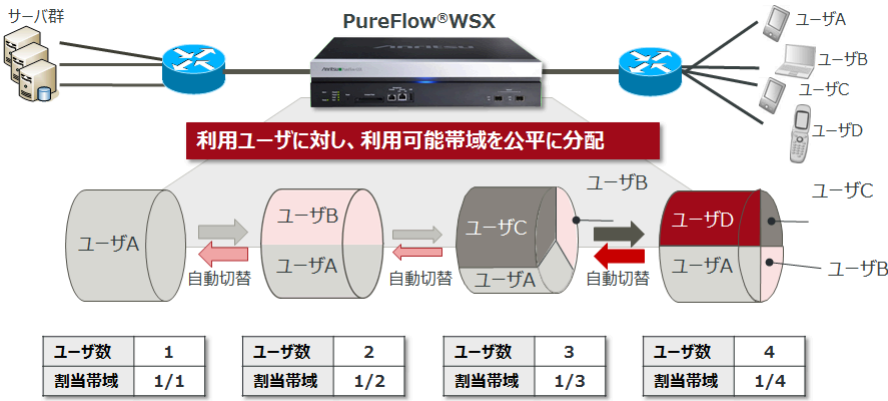
- PureFlow WSXを、WAN回線の出口に**対向**設置
- PureFlow WSXが、ノード間のTCP通信を装置内で**終端**
- WAN内は、PureFlow WSX間で**高速でデータ転送**
- 高速転送する通信としない通信は**自由に設定可能**（IP アドレス/ポート番号指定）
- 高速転送用に、PureFlow WSXに**転送用のIPアドレスが必要**



PureFlow WSX <帯域制御モデル> 基本運用イメージ

ユーザ数に合わせて利用できる帯域を自動調整する公平制御

PureFlowは、利用ユーザ数に合わせて帯域を自動分配できます。
また、分配帯域を使わないユーザがいた場合、その余剰帯域を自動的に他のユーザで公平分配できるので、帯域専有の抑止、回線利用効率アップ、保守者の負担低減が狙えます。



製品情報

アンリツ社製「PureFlow WSXシリーズ」 [□](#) (メーカーページへリンク)

仕様（WAN高速化）

PureFlow WSX 主要諸元（WAN高速化）

項目		仕様	
モデル		PureFlow WSX Lite	PureFlow WSX
形名		NF7602A	NF7601A 注1
制御可能帯域幅		10kbit/s～1Gbit/s 注2	10kbit/s～10Gbit/s 注3
最大シナリオ階層		8階層	
最大シナリオ数／最大フィルタ数		4,096 ／ 40,000	
インターフェイス	ネットワークポート	SFPスロット×4（2スロットのみ使用可能） 1000BASE-SX/LX、1000BASE-T	SFP+／SFPスロット×4（2スロットのみ使用可能） 10GBASE-SR/LR1000BASE-SX/LX、 1000BASE-T
	コンソールポート	RS-232C（RJ-45）（RJ-45/DB9ケーブル付属）	
	CFカードスロット	CompactFlash Specification Revision 4.1 準拠	
	USBポート	USB 2.0 コネクタタイプ：タイプA	
	管理用イーサネットポート	10/100/1000BASE-T	

項目		仕様
トラフィック アクセラレーション	最大TCPセッション数	100,000
	データ圧縮方式	ZIP方式
SMBプロトコル アクセラレーション	対応バージョン	SMB2.0.2 , SMB2.1
	SMBセッション数	10,000
QoS設定		最低帯域保証設定、最大帯域設定、バッファサイズ、優先度（8レベル）
最大フレーム長	ネットワークポート	2,048byte（出荷時）または、10,240byte
	管理用イーサネットポート	1,518byte
運用管理	設定	コンソール/Telnet/SSHによるCLI、RADIUS認証対応、WebAPI、WebGUI
	管理	コンソール/Telnet/SSHによるCLI、SNMPv1/v2c/v3、EnterpriseMIB、SYSLOG、WebGUI
	その他	ネットワーク可視化ツール 注4 によるトラフィック監視
障害対策		リンクダウン転送機能、対向装置の自動切り替えなど
電源・消費電力		AC100V～AC127V、AC200V～AC240V 50/60Hz 2Hz、180VA以下 140W以下
環境条件	動作温度／動作湿度	0～40℃ / 20～80%（結露なきこと）
寸法		88(H)、436(W)、471(D) mm（突起物は除く）
質量		9.5kg以下（電源ユニット2台実装時）
オプション		CFカード、SFP+モジュール、SFPモジュール、帯域拡張ライセンス、FEC機能ライセンス、電源コード
安全規格		UL60950-1、CSA C22.2 No.60950-1-07
妨害波規格		VCCI-A、FCC-A

注1 NF7601A にはアプリケーションソフトウェアが入っておりません。TCP高速化機能をお使いの際は、別途「TCP高速化ソフトウェアライセンス（NF7600-L201A）」をお買い求め下さい。

注2 標準100Mbit/s まで制御可能 200Mbit/s、400Mbit/s、700Mbit/s、1Gbit/s への拡張は、別途オプションライセンスが必要

注3 標準1Gbit/s まで制御可能 2Gbit/s、4Gbit/s、7Gbit/s、10Gbit/s への拡張は、別途オプションライセンスが必要

注4 別売りモニタリングソフトウェア「ネットワーク可視化ツール（次期リリース予定）」およびインストールサーバマシンが必要

仕様（帯域制御）

PureFlow WSX 主要諸元（帯域制御）

項目			仕様
モデル			PureFlow WSX
形名			NF7601A 注1
制御可能帯域幅			10kbit/s～10Gbit/s 注2
帯域制御設定可能単位			1kbit/s（最大フレーム長:2,048byte設定時）、5kbit/s（最大フレーム長:10,240byte設定時）
最大シナリオ階層			8階層
最大シナリオ数／最大フィルタ数			4,096（オプション適用時最大40,000） 注3 / 40,000
インターフェイス	ネットワークポート		SFP+/SFPスロット×2 注4 1000BASE-SX/LX、10/100/1000BASE-T
	コンソールポート		RS-232C（RJ-45）（RJ-45/DB9ケーブル付属）
	CFカードスロット		CompactFlash Specification Revision 4.1 準拠
	USBポート		USB 2.0 コネクタタイプ：タイプA
	管理用イーサネットポート		10/100/1000BASE-T
帯域制御	制御可能トラフィック		IEEE802.1q（802.1ad Q-in-Q 注5 ）、IPv4/パケット、IPv6/パケット
	管理可能な項目	レイヤ2	VLANID、CoS、Ethernet-Type
		レイヤ3	IPアドレス、プロトコル番号、ToS（IPv4）、トラフィッククラス（IPv6）
		レイヤ4	TCP/UDPポート番号
	帯域設定		最低保証帯域設定、最大帯域設定、バッファサイズ、優先度（8レベル）

項目		仕様
最大フレーム長	ネットワークポート	2,048byte、または 10,240byte
	管理用イーサネットポート	1,518byte
運用管理	設定	コンソール/Telnet/SSHによるCLI RADIUS認証対応、WebAPI
	管理	コンソール/Telnet/SSHによるCLI、SNMPv1/v2c/v3、EnterpriseMIB、SYSLOG、ピークレートモニタ
	その他	ネットワーク可視化ツール 注6 によるトラフィック監視
障害対策	リンクダウン転送	対応
電源・消費電力		AC100V～AC127V、AC200V～AC240V 50/60Hz 2Hz、180VA以下 140W以下
環境条件	動作温度／動作湿度	0～40℃ / 20～80%（結露なきこと）
寸法		88(H)、436(W)、471(D) mm（突起物は除く）
質量		9.5kg以下（電源ユニット2台実装時）
オプション		CFカード、SFP+モジュール、SFPモジュール、帯域拡張ライセンス、シナリオ拡張ライセンス、電源コード
安全規格		UL60950-1、CSA C22.2 No.60950-1-07
妨害波規格		VCCI-A、FCC-A

注1 NF7601Aにはアプリケーションソフトウェアが入っておりません。帯域制御機能をお使いの際は、別途「帯域制御ソフトウェアライセンス（NF7600-L601A）」をお買い求め下さい。

注2 標準時は1Gbit/sまで制御可能、2Gbit/s、4Gbit/s、7Gbit/s、10Gbit/sへの拡張は別途オプションライセンスが必要です。

注3 標準時は4,096シナリオまで可能、10,000/40,000シナリオへの拡張は別途オプションライセンスが必要です。

注4 ネットワークポート3,4は使用できません。

注5 多重VLANについては、Q-in-Qフレームのみ制御可能

注6 別売りモニタリングソフトウェア「ネットワーク可視化ツール（次期リリース予定）」およびインストールサーバマシンが必要です。

商標について

記載されている製品名などの固有名詞はアンリツ株式会社またはその関連会社の商標または登録商標です。

本製品は、2022年4月をもちまして新規販売を終了いたしました。